

「持続可能な開発を促進する教育・学習」 コーディネーター研修事業

ひろげる助成

1年目

知識の提供・普及啓発

地域の実践者団体訪問 6回

ハンドブック作成のための
会議など 15回

今年度計画の達成度 80%

目標達成度 35%



課題

持続可能な開発を進める全ての取組みにおいて教育・学習の役割が強化される必要がある一方で、それを実践レベルで担う人材育成の取組みは、国内ではまだ十分とはいえない。

目標

地域づくりに関わる実践者が、持続可能な開発を後押しする教育や学習活動をコーディネートする際のヒントを得て、それを活用した教育活動を展開していくこと。

活動内容と成果

2019年度以降に実施する研修で使用するハンドブックの検討・作成を行った。過去に本事業に参加した団体や、地域づくりのコーディネーターを行っている実践者にも協力をお願いし、地域での実践に学びながら内容の検討を重ねた。12月には「岡山フィールドスタディ」を実施し、各地の実践者とともに地域を超えて、「学びあい」のコーディネートについて意見を交わした。研修ツールの検討・作成と並行し、実践者交流会を実施し、経験共有や本事業課題への関心喚起を行うとともに、研修への参加者へのアプローチも行った。



苦勞した点と工夫した点

■ 苦勞した点

研修への参加対象者の絞り込みや、ハンドブックの構成や対象について、多くの意見があり、検討を重ねる必要があった。

■ 工夫した点

地域のニーズや現状を把握しながら、最も適切な方法で事業を進められるように、運営委員会を定期的に開催した。

活動地域 |  日本全域

〒112-0002
東京都文京区小石川2-17-41-3F
電話：03-5844-3630
E-mail：main@dear.or.jp
http://www.dear.or.jp/



今後の
展望

ハンドブックに対するコメントを収集し、再編集後に研修で使用する。その他、関心ある地域団体等に配付し、地域実践で使用する中で内容の見直しをしていき、そこの「学びあい」の実践事例を中心にまとめていく。

